

スキルラボ室を活用しての看護実践力向上のための支援

スキルラボ室とは？

沖縄県立看護大学の3階にスキルラボ室という部屋があります。ここでは、学部学生、卒業生（新人1年目の看護師）が自己の看護実践力を高めるためにシミュレーターを活用しての参加型体験学習を行う場所です。

どんな学習やトレーニングを行うの？

学部の2年次では、ヘルスアセスメントの授業時にシミュレーターを活用して、呼吸の音やお腹の音（腸音）のさまざまな音を聴診器を用いて聴き、正常な音か異常な音なのかを聞き分ける練習をします。講義形式ではなく、実際に学生は参加型体験学習を通して「アッ、解った！」と腑に落ちることを大切に支援しています。

肺の音を聴取

ヒュー、ヒュー
という
笛みたいな
音が聞こえる！



お腹の音を確認中

グルグル
という腸音が
聴こえた！



学部の3年次では、病院実習に行く前に、病院で受け持つ患者さんを想定し、シミュレーターを活用して、患者への声かけ、問診、フィジカルアセスメント（体を観る技術）を実際に行います。教員から学生への一方向的な教育ではなく、学生が主体的に体験し、その後振り返りを通して、自己の行動を客観視し、その中から“気づき”が導かれるように支援しています。

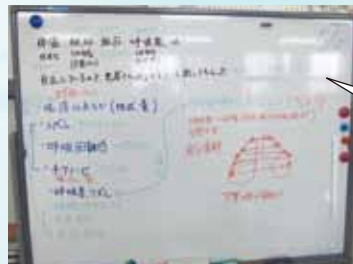
ディスカッション後に資料で確認

実際に
観察したことを
資料で
確認中…



観察したことを板書

学生間で
観察項目の
共有



卒業生（新人1年目の看護師）もスキルラボ室を活用して、病棟で活用することができるように看護実践力のさらなる向上を支援しています。

観察したことを話し合い、板書

看護師役の
人は何を観察して
いたかな!?



肺の音を確認中

肺の上葉で
ブツブツとした
クラックルが
聞こえる

